

平成 19 年度活動概況について < 報告 >

1 . 会議の状況

4 回の研究協議会(第 1 回は兼総会)と 4 回の研究委員会、役員代表者会を開催した。  
各会議の開催日、主な議題等は以下のとおり。

	会議名	主な内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第 1 回	年度計画の審議、決定	6 月 1 日(金)	13:30 ~ 15:30	東京文化会館
	第 2 回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	9 月 28 日(金)		東京文化会館
	第 3 回	輸送計画の確認・微調整と決定 JR との意見交換	10 月 31 日(水)		
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2 月 7 日(木)		
	第 4 回	年間活動の総括と次年度計画	2 月 26 日(火)		
研究委員会	第 1 回	調査研究内容の検討	6 月 1 日(金)	11:00 ~ 12:30	東京文化会館
	第 2 回	データの分析・考察	9 月 28 日(金)		
	第 3 回	データの分析・考察、まとめ	10 月 31 日(水)		
	第 4 回	年間活動の総括と次年度計画	2 月 26 日(火)		
第 43 回研究発表会		実践研究発表等	11 月 20 日(火)	13:30 ~ 16:30	さいたま市 さいたま市民 会館おおみや
全修協	全修協創立 50 周年記念式典並びに記念研究大会		7 月 31 日(火)	13:30 ~ 16:30	東京・グラン ドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		20 年 1 月 25 日 (金)	14:00 ~ 16:00	京都市

2 . 連合体計画輸送の状況

(1) 平成 19 年度計画輸送の実施

平成 19 年度修学旅行の専用列車(定期混乗列車含む)は、関西方面へ春期 3 コース・秋期 1 コース、東北方面 2 コース、長野コースを 5 月 8 日(火)から 9 月 29 日(土)まで延べ 145 日間運行し、795 校 113,833 人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。

5 月 8 日、専用列車第一便の出発にあたり東京駅東海道新幹線ホームにて乗車校の代表生徒・引率責任者、関修委を代表して勝呂 哲会長(千葉県中学校長副会長)並びに関係者が出席し出発式を実施した。

県別・コース別の実施校数・人数、輸送期間は下表の通り。

平成19年度修学旅行専用列車実施状況

(単位：校、人)

県 コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	46	6,703	96	13,324	13	967	203	32,140	122	18,758	480	72,082
B	83	10,470	24	1,784	24	1,982	57	7,461	28	3,518	216	25,215
C	1	84	1	160	0	0	47	8,534	28	4,362	77	13,140
秋期	0	0	0	0	0	0	14	2,441	1	212	15	2,653
合計	130	17,257	121	15,268	37	2,949	321	50,576	179	26,850	788	113,090
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	4	312	4	312
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	2	298	2	298
*長野	0	0	0	0	0	0	0	0	1	133	1	133
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	7	743	7	743
総合計	130	17,257	121	15,268	37	2,949	321	50,576	186	27,593	795	113,833

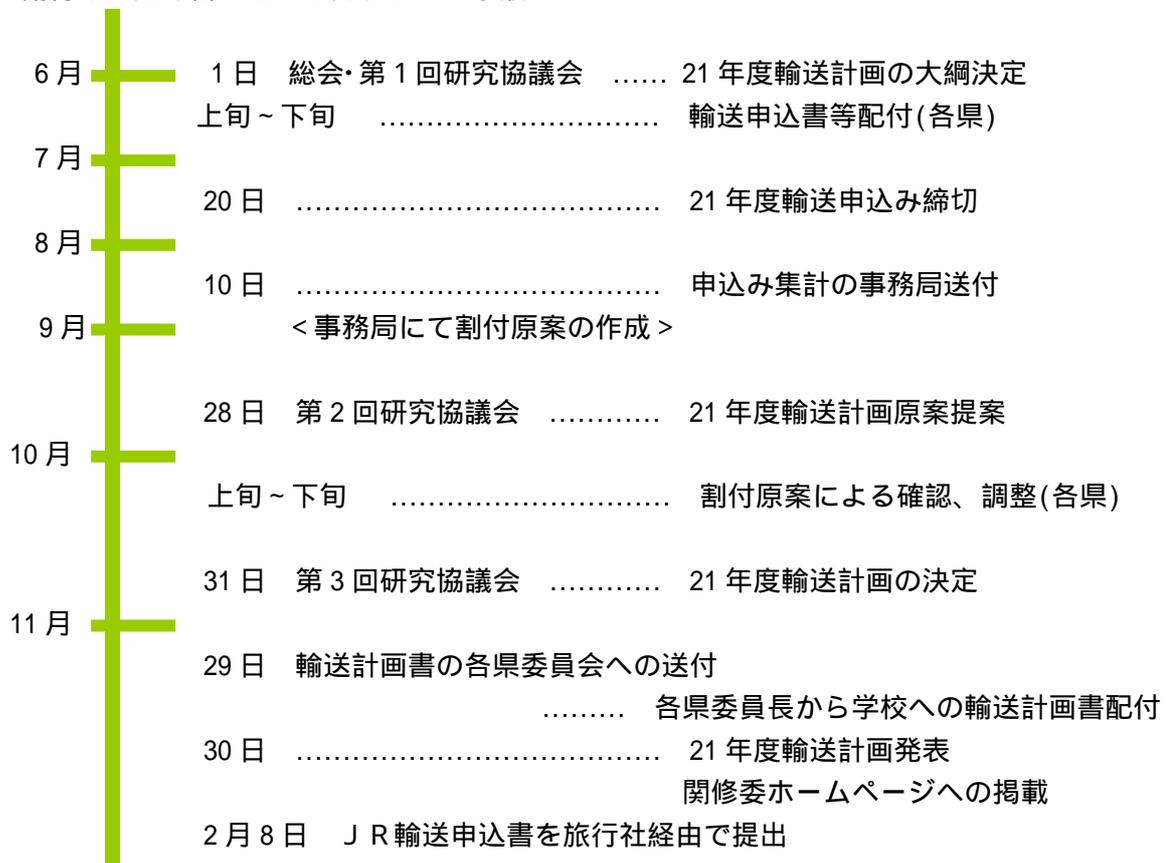
\*印 19年度からの新設。

コース別運行期間

	Aコース	Bコース	Cコース	東北・山形、長野
運行期間	5/8～7/10 64日間	5/8～5/29 24日間	春期 5/8～6/13 39日間 秋期 9/19～9/27 13日間	5/15～5/24 12日間 5/16～5/18 3日間
・日数				

(2) 平成21年度修学旅行専用列車の輸送計画の策定

1) 割付け・組み合わせから発表までの手順



## 2) 輸送計画の確認と決定

平成 21 年度修学旅行専用列車の申込み数並びに組み合わせ原案の状況については、9 月 28 日開催の第 2 回研究協議会に報告し、その後各県での確認及び調整の会議が以下の通り開催された。群馬県は事務局と連絡の上確認をいただいた。

なお、当初 21 年度 A コースへの申し込み数は 495 校 77,366 人と過去最高となったが、割付日程が 7 月 10 日出発までとなるため、急遽千葉県・埼玉県の理解と協力を得て 7 月 8 日を最終出発日とする組み合わせに A コース原案の修正が行われた。

- ・ 10 月 2 日(火) 千葉県修学旅行委員会(千葉県教育会館)
- ・ 10 月 10 日(水) 茨城県・栃木県合同修学旅行委員会(ホテルレイクビュー水戸)
- ・ 10 月 11 日(木) 埼玉県修学旅行対策部(さいたま市大宮区役所)

割り付けの学校数と生徒数

### 平成 21 年度修学旅行専用列車の申込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	44	6,714	98	13,352	17	1,481	214	36,293	108	17,092	481	74,932	46
B	83	10,501	21	1,562	18	1,340	57	7,474	34	4,326	213	25,203	-12
C	1	81	0	0	0	0	38	7,124	41	6,919	80	14,124	-37
秋期	0	0	0	0	0	0	14	2,616	0	0	14	2,616	0
4月C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-5
合計	128	17,296	119	14,914	35	2,821	323	53,507	183	28,337	788	116,875	-8
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	2	176	2	176	0
東北山形	0	0	0	0	0	0	0	0	3	379	3	379	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	4	618	4	618	1
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1,173	9	1,173	-0
総合計	128	17,296	119	14,914	35	2,821	323	53,507	192	29,510	797	118,048	-8
対前年	1	277	-2	58	-2	-98	-1	1,446	-4	566	-8	2,245	

対前年数は、輸送計画決定後の追加申込みを含む校数・人数による。

### 割付け日程

#### 1) コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	東北・山形	長野
5/8～7/8 62日間 74,932名 1日平均1,208名	5/8～5/30 23日間 25,205名 1日平均1,096名	春 5/8～6/17 41日間 14,124名 1日平均344名 秋 9/23～9/30 8日間 2,616名 1日平均327名	5/13,20,24,27,6/2 5日間 555名 1日平均111名	5/20,27,6/3,10 4日間 718名 1日平均180名

県別・コース別の設定期間(出発日ベース)、人数、日数

コース	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
A	6/1～6/19 6,714名 19日間	6/1～6/30 13,352名 25日間	6/15～6/21 1,481名 7日間	5/8～6/14 36,293名 38日間	6/18～7/8 17,092名 21日間
B	5/8～5/30 10,503名 23日間	5/19～5/24 1,562名 6日間	5/20～5/26 1,340名 7日間	5/8～5/19 7,474 12日間	5/20～5/30 4,326名 11日間
C	5/21 81名 1日間	-	-	5/8～15 6/1～6/15 7,124名 22日間	5/9～5/12 5/15～5/31 6/16～6/17 6,919名 23日間
秋C	-	-	-	9/23～9/30 2,616名 8日間	-
東北・山形	-	-	-	-	5/13,20,24,27 6/2 555名 5日間
長野	-	-	-	-	5/20,27 6/3,10 718名 4日間

(3) 輸送計画書の作成と配付

例年通り、平成21年度修学旅行新幹線輸送計画の冊子を作成し、利用校のみならず全設置校並びに地方教育委員会へ配付した。あわせて、11月30日正午関修委ホームページに掲載した。

- ・送付時期 11月29日(木)午前中に各県委員会へ送付
- ・配付対象 利用校、独自校、地方教育委員会 各1冊

3. 研究調査活動について

(1) 研究委員会の活動状況

会議の状況

- 第1回研究委員会 6月1日(東京文化会館) 調査の方向・骨子の検討
- 第2回研究委員会 9月28日(東京文化会館) 調査データ等の考察
- 第3回研究委員会 10月31日(東京文化会館) 調査報告書のまとめ
- 第4回研究委員会 2月26日(東京文化会館) 年間活動の総括と次年度計画

19年度修学旅行の実施状況等調査まとめ

平成19年度修学旅行の実施状況並びに修学旅行での体験学習について、全設置校を対象に調査を行い、「平成19年度修学旅行の実施状況並びに修学旅行の事前学習・事後学習の状況について」の集計結果の分析と考察として報告書を作成し、11月20日第43回修学旅行研究発表会で富田研究委員長が報告するとともに、各県の委員会(部)に配付した。

また、学校Eメールアドレス(実施状況等アンケート時に取得)を利用して、各校への報告も行った。

(2) 第43回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

- ・日時 平成19年11月20日(火) 13時10分～16時15分
- ・会場 さいたま市民会館おおみや(さいたま市大宮区下町3-47-8)
- ・各県の参加人数 一般は、修学旅行受け入れ機関・団体

埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	全修協	一般	合計
211名	15名	10名	6名	13名	3名	3名	261名

・研究発表

関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動並びに研究調査報告 富田 政博研究委員長  
研究テーマ「子供の未来を拓く修学旅行の役割の探求」

研究発表1 「生きる力をはぐくむ修学旅行」

- 体験学習を通して自分の将来・地域を見つめる旅 -

発表 川口市立東中学校 大倉 芳樹教諭

研究発表2 「現在・過去・未来、そして自分を見つめる修学旅行」

- 総合的な学習の時間とリンクした実践的な取り組みを通して -

発表 行田市立埼玉中学校 桜井 信雄教諭

指導講評 埼玉県教育局義務教育指導課指導主事 渋谷 修造先生

(3) 修学旅行学習資料「関西の旅」の発行

- ・平成14年度部分改訂後、逐次最新情報に更新。平成18年度に改定新版とした。
- ・平成20年度修学旅行用として、11月末に発行所より見本を各学校に送付。

(4) 現地視察会

・神戸市修学旅行現地視察会

ア．実施月日：平成19年8月3日(金)～4日(土) 2日間

イ．参加者：10名(栃木県1名、埼玉県4名、千葉県3名、事務局2名)

ウ．視察内容：震災学習と貿易港神戸の歴史と文化

神戸花鳥園、ホテル視察(ポートピアホテル)、人と防災未来センター(語り部ボランティアの震災体験講話、震災学習・施設見学)、神戸市役所で情報交換会、ホテル視察(クラウンプラザ神戸)、コンチェルト号にて神戸港クルーズ、ボランティアガイド案内・解説による北野めぐり(風見鶏の館・萌黄の館・・・北野工房体験学習)と旧外国人居留地跡めぐり、メリケンパーク、ホテル視察(タワーサイドホテル)

4. 陳情・要請活動について

(1) 平成20年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

・陳情先・月日

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課長 8月30日(木)

財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 8月30日(木)

・陳情者(5団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会 東海三県中学校修学旅行委員会

近畿地区公立中学校修学旅行委員会 あおぞら号近畿地区運営協議会

財団法人 全国修学旅行研究協会

・陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

・陳情額と決定額（下記別表のとおり）

\* 修学旅行費については、小中とも19年度+200円を要望したが、中学校は、-200円。

\* 校外学習は、+100円で要望したが、小中学校とも19年度据え置きであった。

\* 修学旅行費の対象人数は、小学6年の減少、中学3年の増加で、総額としては、増加している。

### 平成20年度修学旅行費等の国庫補助金の陳情額(単価)

平成20年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)					対象人数 (人)			
行事	学校種別	19年度 決定額	要望額	20年度 決定額	年度	小学校	中学校	
修学 旅行	中学校	55,900	56,100	55,700	17	12,892	12,266	
	小学校	20,600	20,800	20,600	18	13,064	12,518	
校外 学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,840	5,940	5,840	19	14,762	14,057
		宿泊を伴わない場合	2,180	2,280	2,180	20	13,884	16,678
	小学校	宿泊を伴う場合	3,470	3,570	3,470			
		宿泊を伴わない場合	1,510	1,610	1,510			

#### (2) JRとの意見交換について

10月31日(水)第3回研究協議会において、JR東海、JR東日本との意見交換会を開催した。事前に各県からの意見・要望事項をとりまとめ、JR関係箇所へ事前提出を行った。

## 5. 他団体との連携

### (1) 財団法人全国修学旅行研究協会との連携

(ア) 全修協創立50周年記念式典並びに第24回全国修学旅行記念研究大会

・後援 文部科学省、関修委他

・日時 平成19年7月31日(火) 12時30分～16時30分

・会場 グランド・ヒル市ヶ谷(東京)

・主題 「子供の未来を拓く修学旅行の役割の探究」

・第1部 創立50周年記念式典

第2部 第24回全国修学旅行研究大会

・全修協提案「地域の活性化と修学旅行の役割」 全修協 久保 行正

・実践発表「新しい修学旅行の試み」 人と防災未来センター 田村 賢一

・記念講演「教育の動向と学校の取り組み」 千葉大学教授 天笠 茂

第3部 創立50周年祝賀会

(イ) 環境学習セミナーの開催 平成19年「島原・天草」 8月16(木)～18日(土)

### (2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会

各地区修学旅行委員会の代表者による意見・情報交換会

・主催 財団法人 全国修学旅行研究協会

・日時 平成20年1月25日(金)14時～16時

・会場 京都市

・出席者 各地域の修学旅行委員会代表者2名並びに全修協  
関修委出席者...秋池運営委員長、富田研究委員長

## 6. その他

### (1) 資料・情報について

修学旅行等の最新の資料・情報を各研究協議会・発表会等で提供した。

日本科学未来館(東京)、 神戸市修学旅行(神戸市)、 ユー・エス・ジェイ教育旅行プログラム(USJ)、 平城遷都 1300 年(奈良市)、 修学旅行資料「関西の旅」(関修委監修・発行教材研究所)、 伊勢志摩体験学習(三重県)、 琵琶湖畔での体験学習(オーパルオブテックス)、 東北まなび旅(東北広域教育旅行誘致委員会)、 京都伝統工芸体験工房(京の伝統産業体験観光推進委員会)

### (2) 事務局の動向

事務局は、各研究協議会・研究委員会・研究発表会の運営に携わるとともに、各県の委員会(部)への出席及び連合体の利用拡大等を兼ねて校長会を訪問、関修委活動のPRを行った。

また、JR 東日本・JR 東海とは随時訪問・連絡を行い、計画輸送がスムーズかつ確実に実施されるよう働きかけを行っている。

6月12日・7月26日・10月2日・10月19日・千葉県修学旅行委員会

6月14日・9月19日・10月11日・11月16日・2月28日 埼玉県修学旅行対策部会

4月27日 茨城県修学旅行委員会

10月10日 茨城県・栃木県合同修学旅行委員会

### (3) 平成 20 年度修学旅行新幹線輸送計画の変更

#### 1) 4月限定コース名の変更等

・C1コース(4月限定)は、C春コースに名称を変更。

・同コース往路利用列車は、のぞみ号(東京 10:26 発～京都 12:47 着)に変更。

#### 2) 追加申込みの受け付け

C春コースに、千葉県印西市立西の原中学校(183名)、4月16日出発

Aコースに、千葉県四街道市立旭中学校(122名)、5月15日出発

Aコースに、千葉県成田市立玉造中学校(82名)、6月1日出発

Bコースに、千葉県香取市香取中学校(74名)、5月22日出発

#### 3) 出発日の変更

Bコースの千葉縣市川市立第四中学校(165名)、5月13日出発が取り消し。

\*麻疹発症のため。7月8日出発を再設定。